

愛農高校の教育プログラムが 「2022 年度グッドデザイン・ベスト 100」に選出

愛農学園農業高等学校の教育プログラムが、このたび 2022 年度グッドデザイン・ベスト 100(主催：公益財団法人日本デザイン振興会)に選出されました。本校の 59 年間に渡る持続可能な農業教育と人間教育が高く評価されました。本校では今回の受賞を契機に愛農学園農業高等学校とその教育プログラムの周知拡大を図るとともに、今後も持続可能な農業教育と全寮制少人数を基調とした教育活動を進めていきます。

- 対象名称：愛農学園農業高等学校 教育プログラム
- 教育プログラム概要：1964 年に農業者小谷純一によって三重県伊賀市に創立された聖書を土台とした全日制全寮制の私立農業高校。男女共学で 1 学年 25 名定員の少人数教育。10ha 以上の敷地・農地には乳牛 10 頭、豚 100 頭、平飼い鶏 1500 羽と 60 品目以上の無農薬野菜、150 本以上の果樹に水稲 1.5ha の農場があり、生徒と職員で日々農作業に取り組む。自分たちで育てた農産物の自給率は 70%に達しており、寮生活を含め自分たちの生活を自分たちで作りに上げることに重点を置き、共に生きることを根幹から学ぶ特徴的なプログラムを実践する。

- 校長：村上守行
- グッドデザイン賞審査委員による評価コメント

50 年以上前から有機農業を実践してきた少人数・私立全寮制の農業高校。農業に熱中できる環境を教職員だけでなく、生徒、卒業生も含め小さなコミュニティーで育てていることに評価が集まった。人間ファーストではなく地球ファーストな農業に愛情を持つ生産者が増えると、日本の農業の選択肢も増えていくことになる。食べることの未来を担う高校生を、こういった小さな学校、小さな取り組みをもっと応援していきたい。

- グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ

[GOOD DESIGN AWARD \(g-mark.org\)](https://www.g-mark.org/)

[教育プログラム \[愛農高校教育プログラム\]](#) | [受賞対象一覧](#) | [Good Design Award \(g-mark.org\)](#)



グッドデザイン・ベスト 100 とは

グッドデザイン・ベスト 100 は、その年のすべてのグッドデザイン賞受賞対象の中で、審美性、提案性、可能性などにおいて総合的に優れているとして高い評価を受けた 100 点です。今日におけるデザインの水準を高めるに相応しい、これからのモデルとなりうるデザインとして選出されました。

グッドデザイン賞とは

1957 年創設のグッドデザイン商品選定制度を継承する、日本を代表するデザインの評価とプロモーションの活動です。国内外の多くの企業や団体が参加する世界的なデザイン賞として、暮らしの質の向上を図るとともに、社会の課題やテーマの解決にデザインを活かすことを目的に、毎年実施されています。受賞のシンボルである「G マーク」は優れたデザインの象徴として広く親しまれています。

<http://www.g-mark.org/>



このプレスリリースに関するお問い合わせ先

愛農学園農業高等学校 広報部 担当：泉川道子 (教頭)

TEL : 0595-52-0327 E-mail : aikou@ainogakuen.ed.jp